

だいじょうぶ。未来は元気だよ。

学校長 梅田 比奈子

4月7日の始業式以来、休校が続いています。「みんな、元気かな?」「ちゃんと早寝、早起きしているかな。」「勉強は、進んでいるかな。」「心の元気も大丈夫かな?」考え始めると、心配ばかりが心に浮かんできます。このような状況は、つい、数か月前まで、誰も想像できませんでした。

瀬ヶ崎小学校は、休校の間に66回目のお誕生日を迎えました。子どもたちのいない学校は、静かで、きれいな花壇の花たちもさみしそうです。この間、学校では、休みが長くなっている子どもたちの学習をどうしていこうか・・・と考えています。休校中でも少し、規則的にできるようにと時間割で学習を組んでみました。そして、復習だけでなく、新しい学びに取り組みめるように工夫してみました。本当は、授業で、みんなで取り組めるのが一番ですが、今は、まだ、我慢の時。



先日、新聞にドラえもんからのメッセージがのりました。みんながうちにいて、手を洗い、家族を思い、友達と支え合う。そして、やさしい気持ちでいる、病気の人を助けてくれた人がいる、みんなのために働いてくれた人がいる。それが短い言葉でつぶられ、最後のメッセージが「だいじょうぶ。未来は元気だよ。」という言葉でした。先が見えない不安は、誰にでもあります。でも、明日を信じて、今、自分にできること、すべきことを着実にやっていきたいと思えます。学校は、いつでも、ここにあります。そして、私たちは、いつも子どもたちにエールを送っています。一日でも早く、この状況が収まり、笑顔があふれる学校が戻ってくることを心より願っています。

4月の様子から

6日 入学式



桜が満開の中、令和2年度の入学式が行われました。元気いっぱい的一年生が初登校をしました。式の中の学校長の話のように、一人ひとりが自分らしい花を咲かせて、美しい花壇ができるような学年になるといいですね。

7日 始業式



始業式の日、「久しぶりに友達に会える!」「新しいクラスメイトは誰だろう。」という気持ちからか、8時過ぎには多くの児童が登校をしてきました。校庭で新クラス名簿をもらおうと、久しぶりに校庭に子どもたちの明るい声が響き渡っていました。